



# 中期経営計画『こうぎん新創造 第Ⅰ期：変革』

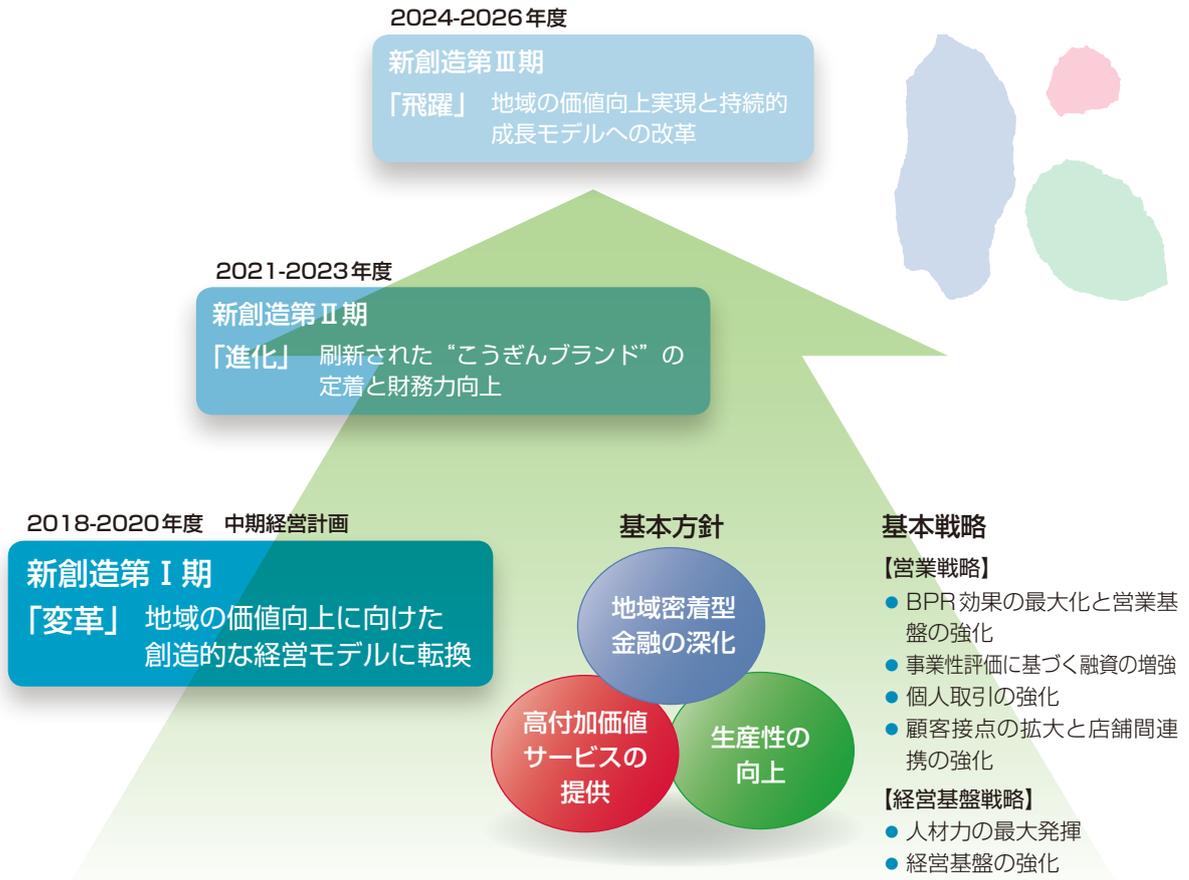
計画期間 2018年4月～2021年3月

## 10年後の目指す姿「地域の価値向上に貢献する金融インフラ」

～こうぎんの目指すベスト・リージョナル・コラボレーション・バンク～

- 地域密着型金融を深化させ、付加価値の高い金融サービスを提供することで、お客さまの価値向上をサポートする
- 地域全体の価値向上を提案し、その活動を支援する金融インフラとなる

中期経営計画



外部環境	国内	<p>経済成長の鈍化 (GDP成長率1%弱)</p> <p>人口減少 (生産年齢人口減少・減少率の地域間格差)</p> <p>顧客接点・消費行動の多様化 (電子商取引の隆盛)</p> <p>金融テクノロジーの高度化 (決済方法の変化、ビッグデータ活用)</p> <p>金利スプレッドの縮小 (金融政策・競争激化)</p> <p>顧客の世代交代 (事業承継・相続)</p> <p>人材多様化と高度化要請 (多様な課題への解決提案)</p> <p>資金需要の縮小 (事業者数減少・人口減少・トランザクションレンディングの勃興)</p> <p>地域の労働生産性向上が課題</p>
	地域	
当行	経営理念	<p>熱意：高知銀行は、限りない熱意をもって、地域の発展と暮らしの向上に貢献します。</p> <p>調和：高知銀行は、調和のとれた経営をもって、お客さまの信頼に応えます。</p> <p>誠実：高知銀行は、創意と誠実をもって、お客さまに奉仕します。</p>
	経営目標	<p>お客さまにとって……………役に立ち信頼される銀行</p> <p>株主にとって……………健全で企業価値の高い銀行</p> <p>地域社会にとって……………使命を果たし発展に貢献する銀行</p> <p>職員にとって……………働きがいがあり夢と希望を実現できる銀行</p>

## 中期経営計画の数値目標

2019年3月期  
目標

2019年3月期  
実績

2020年3月期  
目標

### 主要計数目標

コア業務純益	1,957百万円	1,521百万円	1,940百万円
業務粗利益経費率	71.19%	73.16%	71.37%
当期純利益	15億円	9億円	15億円
自己資本比率	9.4%程度	9.60%	9.3%程度

### 地域密着型金融の深化

中小規模事業者等向け貸出残高	3,968億円	4,045億円	3,985億円
経営改善支援等の取組比率	4.83%	7.86%	4.92%

※コア業務純益（業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益）

※業務粗利益経費率（（経費－機械化関連費用）÷業務粗利益）